練習28　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

インタビューを読むときは、用心しなければならない。私たちは、人が話したことを、そのまま文章にしたのがインタビューだと思ってしまいがちだ。しかし、実際にはさまざまな「加工(注1)」が行われてはじめてインタビュー文になる。限られたスペースで、伝えたいことを伝わりやすく表現するためには、切ったり、貼ったり、並べ替えたり、ときには修正したりという作業が必要になる。①それは映画の作り方に似ている。映画はたくさん撮ったフィルムのなかから、必要な部分を選び出し、つなぎ合わせていく。

（永江朗『インタビュー術！』講談社）

(注1) 加工：元の物に手を加えて新しい物を作ること

問い ①それは映画の作り方に似ているというのは、どういうことか。

1　インタビュー内容そのままではなく、手が加えられること
2　限られた範囲のなかで、インタビューの相手の話を忠実に再現しようとすること
3　実際にはインタビューで聞かなかったことも新たに加えられていること
4　さまざまな視点からインタビューの相手をとらえようとしていること

練習29　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

①行間を読むという不思議な言葉があります。

たとえば誰かから手紙が来て、時候のあいさつ(注1)が書いてあり、いま自分たちが活動しているNPO組織(注2)の活動状況が書かれていて、「それほど豊かな財政ではありませんが、みなして(注3)がんばってやっています。どうぞ心からの応援をおくってください」と結んである場合、読んだ人はどうするでしょうか。

なるほど、そう書いてあるからがんばれと、手紙の前で声援を送る人もいるかもしれません。けれど、心からの応援をおくってくれという言葉からいくらかの金銭的なサポートをしてほしい、あるいは手伝いに来てほしいと言っているのに違いないと思って、実際に行動に移る人も何人かいるのです。

（佐藤綾子『思いやりの日本人』講談社）

(注1) 時候のあいさつ：手紙の初めに書くあいさつ文。四季の変化について述べる。

(注2) NPO組織：利益を目的とせず、社会的な活動を行う組織

(注3) みなして：みんなで

LIVEWORKSHEETS

問い この手紙の場合、①行間を読むとはどういうことか。

1　手伝いに来たり、金を送ったりしてほしいのだろうと理解する。

2　実際に手紙の前で声を出して「がんばれ」と言う。

3　すぐに「がんばれ」という内容の応援の返事を書く。

4　手紙を書いた人に向かって「手伝いに来てほしい」と頼む。

練習30　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

筆者は写真展や新聞、雑誌の中で①「いいな」と思う写真に出会ったときは、自分はいま写真を見ているのではない、写真が捉えたその場に立ち会っているのだ、と思うようにしています。人が撮ってきたモノとして、一歩引いたところで鑑賞するのではなく、自分も同じ現場でこのシーンを見ているのだと考えるのです。そうして、画面の中の人の声や周囲の音、匂い、モノの感触まで想像するのです。（中略）

写真は実際にあった、ある瞬間を記録したものです。まだ見たことのない、めずらしい風景や人びとの生活の場に直接つれていってくれます。古いアルバムを開け、祖父母といっしょに写っている写真にもぐり込むと、子供の頃に戻って祖父母の声が聞こえてきます。

良い写真とは、そこに写っている世界に入ってみたくなるような、あるいは、知らないうちに、われを忘れて写真と話し込んでいるような、画面の中からいくつもの言葉が聞こえてくるような写真のことをいうのではないでしょうか。

（石井正彦『気づきの写真術』文藝春秋）

問い 筆者が①「いいな」と思う写真とはどのような写真か。

1　写した人と見ている人がいっしょに話をしていると感じられるような写真

2　写した人と見ている人の気持ちがぴったり一つに重なるような写真

3　見る人の気持ちが知らず知らずのうちに楽しくなってくるような写真

4　見る人がその世界に入り込みたいという気持ちになるような写真

LIVEWORKSHEETS

練習31　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

図書館はぶらっと出かけて新聞雑誌をひろい読みしたり、話題の新刊書をパラパラと開いてみたりしたあと、ゆっくり読みたい本の一、二冊も借りて帰ってくるというように、ごく気軽に利用するのが理想的ではないだろうか。つまり、読書生活が日常化しているという状態であり、今日の公共図書館の運営方針は、そのような親しみを持たれるよう努めている。

ふだんから気軽に利用していると、だいたいの勝手もわかるので、いざ調べものや研究でもしようというときにあわてずに済む。

しかし、地域の公共図書館設置数はまだまだ十分ではないので、身近（八百メートル以内）に親しみやすい図書館があるような恵まれた人は少ないであろう。どうしても図書館には①肩肘張った目的を持って出かけていくことになる。散歩に行くのでなく、勉強や調査に出かけていくということになりがちである。そうなると、目的の資料を閲覧できる確率の高い、大きな図書館へということになる。

現実の問題としては、日常においては近所にある地域図書館を、少し専門的な問題については都心や県立の図書館を利用するという二段構えの作戦をとるのが能率的だろう。

（紀田順一郎『図書館が面白い』筑摩書房）

問い　①肩肘張った目的とはどのようなものか。

1　散歩の途中に立ち寄って新聞や本をパラパラと読むこと
2　図書館に親しみを持ち、読書生活が日常化するよう努めること
3　便利な公共図書館を地域に増やそうとすること
4　調べものや研究をするために資料を探しに行くこと

LIVEWORKSHEETS

練習32　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

ペットが子供同様に扱われ、深い愛情を受けること、それは稀薄になり続ける人間関係やストレスにさらされることの多い現代の一つの象徴と言えるのではないだろうか。

他人の干渉(注1)から離れ、煩わしさ(注2)から解かれた分、一人では消化しにくい思いを抱えることが増え、犬や猫は大きな癒し(注3)の力を持ちはじめた。私はそれを、昔から身近にいた彼らが変わったのではなく、人の求めるものが変化したためだと考えている。

動物たちは生きるために、いくつかのことを人に頼っているが、①救われているのは決して彼らだけではない。

（宇都宮直子『ペットと日本人』文藝春秋）

(注1) 干渉：関係のない人からうるさく指示されること

(注2) 煩わしさ：気が重く、めんどうなこと

(注3) 癒し：病気を治したり、苦しみなどを軽くすること

問い ①救われているのは決して彼らだけではないとはどういうことか。

1　犬や猫は人間の世話を受けて生きているが、人間は彼らによって癒され、救われている。

2　最近は犬や猫が癒しの力を持ちはじめ、人間だけでなくほかの動物も救われるようになった。

3　ペットを飼っている人ばかりではなく、周りにいる人々もストレスから解放される。

4　人間だけでなく、犬や猫も煩わしさから解放されて、自由になりたいと思っている。

LIVEWORKSHEETS